

事務事業名		定住支援員配置事業(雲南市地域との協働による定住推進交付金)		所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課	
総合計画体系	政策名	(I)みんなで築くまち<<協働・行政経営>>		所属G	うんなん暮らし推進グループ	課長名	奥田 清	
	施策名	(02)移住・交流の推進		担当者名	安部真美	電話番号	0854-40-1014	
	目的対象	市外の人・市民	意図	雲南市を好きになり、移住・定住してもらう。				
	基本事業名	(006)移住のための相談・支援体制の充実		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	0 1 1 0 定住対策促進事業		
目的対象	市外の人・市民	意図	安心して移住・定住してもらう。				中事業 中事業名	0 5 6 5 0 7 定住支援員配置事業

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
地域と一体となった定住推進を図るため、地域自主組織が配置する定住担当者(「定住協力員」)の活動費(事務費)として1組織あたり5万円を交付する。 平成24年からの3年間を重点期間(交付期間)としていたが、平成27年以降も3年間事業実施予定。平成27年度は地方創生交付金を活用した。	

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)				
	① 交付金の交付(27組織)	① 交付金の交付(30組織)				
	② 定住協力員会議の開催(定住対策円卓会議兼定住協力員会議各町1回ずつ)	② 定住協力員会議の開催				
② 活動指標		単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	交付金の交付	組織	28	28	27	30
イ	定住協力員会議の開催	回	1	2	6	1
ウ						
エ						

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
	移住希望者	ア	交付金の交付	組織	28	28	27	30
		イ						
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)		
移住希望者の受入れ体制を強化するため、地域自主組織がと協働で定住対策を進めていく	ア	定住協力員の配置数	人	29	29	28	31	
	イ							
	ウ							

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(28年度決算)		② コストの推移		単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
○交付金 50千円×26地区 100千円×1地区(加茂) ※加茂町は加茂交流センター運営協議会へ10万円を交付(2名配置)	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		1,450		
		県支出金	千円	1,450				
		地方債	千円			1,400	1,550	
		その他	千円					
		一般財源	千円					
		事業費計(A)	千円	1,450	1,450	1,400	1,550	
		人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	546	635	620			
	人件費計(B)	千円	2,123	2,485	2,460			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,573	3,935	3,860			

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
少子高齢化により地域の担い手人材の確保は地域課題ともなっている。また空き家の増加により活用促進の必要性も高まっている。	定住協力員との情報交換の場を設け、一体となって進めていける体制づくりを行っている。組織の事情により未配置の地域自主組織については、引き続き働きかけをしていく。	地域の担い手人材の確保や空き家の活用促進は地域の課題でもあり、28組織(30組織のうち)から申請があった。地域によっては温度差もあるので全地域に広げていけるように取り組みたい。定住協力員は配置するが、申請や報告等の手間が交付金額に見合わないため申請を見送る組織もあった。

事務事業名	定住支援員配置事業(雲南市地域との協働による定住推進交付金)	所属部	政策企画部	所属課	うんなん暮らし推進課
-------	--------------------------------	-----	-------	-----	------------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	定住協力員との連携については、情報共有の場を設けながらより良い連携の仕組みづくりを検討していきたい。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	空き家の情報収集やUIターン者の受入れ気運の醸成には地域との連携が不可欠である。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		地域づくり活動等支援事業
	<input type="checkbox"/> 他に手段がない	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる		<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		5万円という少額の活動費であり削減できない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	地域づくり活動等交付金へ積算し(増額)、交付することにより人件費が削減できる。	
B 有効性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		地域自主組織の申請に基づき実施している。
	⑩ 評価の総括			
C 効率性	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	C 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	定住対策を進めていくうえで、地域の窓口となっている定住協力員は重要な役割を担っている。しかし地域によって、定住に向けた対応に対応差があるため有効性については検討する余地がある。	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下		×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下		×																
<p>定住協力員は、地域における空き家情報の提供や移住者の受入れ支援等において協力を頂いている。</p> <p>引き続き情報共有の場を設けながらより良い連携の仕組みづくりを検討していきたい。</p> <p>交付申請事務については、地域づくり活動等交付金へ積算し(増額)、交付することを検討したい。</p>	<p>廃止・休止の場合は記入不要。</p> <p>コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		